



11月15日(日)

迅速な災害対応を目指して

伯耆町消防団非常呼集訓練

伯 耆町消防団が、11月15日(日)午前7時から、殿河内地区内で非常呼集訓練を行いました。この訓練は、消防団員が町内で発生した災害に迅速に対応できるように、毎年行っています。

今回は、観音堂付近の住宅から出火した炎が周囲に燃え広がったという想定で、防災行政無線で知らせを受けた消防団員約70人が出動しました。7つの分団が連携して、ホースを延長し、火点に向かって放水する、という一連の動作を的確かつ迅速に行いました。

冬は暖房器具など火気の使用が増え、火災が起きやすくなります。休暇で職場や自宅を長く不在にする場合や就寝前など、火の元をしっかり確認して、火災のない年末年始を過ごしましょう。



▲想定火点に向かってホースを延長する団員

11月21日(土)・11月22日(日)

楽しいイベント

盛りだくさん

岸本公民館きないや祭

岸

本公民館きないや祭が、11月21日(土)、22日(日)の2日間開催されました。この祭りは、昭和61年に農具を販売する吉長市(農具市)として始まり、現在では岸本公民館を中心に飲食コーナーや趣味の展示などを行っています。

祭り2日目の公民館前では、ぜんざいとけんちん汁が無料でふるまわれたほか、町内団体の飲食コーナーや和太鼓の演奏などがあり、多くの人で賑わいました。また、保育園児・小中学生や公民館教室の作品展示、フリーマーケット、絵本の読み聞かせ、お茶席、アロマ体験などいろいろな催しが用意され、小さな子どもから大人まで、思い思いに祭りを楽しみました。



▲大勢の人で賑わった岸本公民館前の通り



▲公民館教室の作品展示

11月25日(水)

交通ルールを守って

事故を撲滅

伯耆町交通安全啓発イベント

高

高齢者と子どもを交通事故から守るための啓発イベントが11月25日(水)、農村環境改善センターで初めて開催されました。ふたば保育所の園児53人、町民約70人が参加し、交通安全教室や交通事故被害者遺族の講演が行われました。

交通安全教室では、黒坂警察署員と警察広報犬が、左右を確認してから横断歩道を渡るよう、園児たちに指導しました。

その後、江角由利子さんが「亡くなった娘からの生命のメッセージ」と題して講演をしました。江角さんの二女・真理子さんは、友人と車で出かけた際、飲酒運転で対向車線にはみ出た車とぶつかり、16年前に亡くなりました。当時の体験を通して江角さんは、「皆が事故を起こさないようにルールを守って安全運転をしてほしい」と、事故撲滅を訴えました。



▲警察広報犬カリンとフーガといっしょに横断歩道を渡る練習をする園児